

市議会だより

すなわ

第176号
令和7年5月1日



市内5小学校で最後の入学式が行われました。
(空知太小学校)

義務教育学校開校に よる各避難所について

公正会・
市民の声連合

沢田 広志

問 義務教育学校開校まで一年となりました。

そこで、災害時緊急指定避難場所と指定避難所はどのようなのか伺います。

答 市では、現在12カ所の指定緊急避難場所・指定避難所を指定しており、市民の皆様の安全確保に努めています。

令和8年4月の義務教育学校開校時にも、市民の安全を第一に考え、避難体制に支障をきたさないように指定緊急避難場所・指定避難所における収容人数の確保を図っていきます。

今回の義務教育学校開校により、指定緊急避難場所・指定避難所として利用している5つの小学校が閉校となりますが、空知太小学校・中央小学校・豊沼小学校については、令和8年4月以降も校舎などの利用が見込まれることから、指定緊急避難場所・指定避難所として指定し続けます。残る2つの北光小学校・砂川小学校につ

いては、跡地利用について現状では決まっていないので、令和8年4月の閉校時には指定緊急避難場所・指定避難所として当面は指定を続ける予定です。

なお、それ以降に北光小学校・砂川小学校の跡地利用において避難所として利用できない場合は、指定を解除することになりますが、指定緊急避難場所・指定避難所における収容人数の確保を図るため、代替の指定緊急避難場所・指定避難所の指定を考えています。



ほかに「協働のまちづくり」について質問しました。

小中学校のスマートフォン 等の使用について

日本共産党

高田 浩子

問 スマートフォン所持の実態把握について伺います。

答 平成29年に、小4から中3までの生徒と保護者にアンケートを実施、その後平成30年に2回目の調査を行い、令和元年に小6と中3そして小4から中3の保護者の調査をしました。

問 小1から小3を対象にしない理由と今後の調査について伺います。

答 内閣府調査が10歳以上で所持率も少ないためです。

調査については、ルールの作成及び浸透のため、その後は行っていないです。

問 使用における注意点等の指導について伺います。

答 国の指導資料の活用やゲストを招いての学習の実施、またネットパトロールを実施しています。

問 ネットパトロール実施頻度について伺います。

答 月1から2回調査します。

体への影響に関わる指導につ

いて伺います。

答 国のガイドブックや保健だより等通信を利用し指導しています。

問 ガイドブックの内容について伺います。

答 姿勢や環境等、専門家の意見を交え解説している資料です。

問 通信等をどのように活用するのかについて伺います。

答 目の愛護デーや長期休み中の留意点として触れたり、随時指導や啓発に活用しています。

問 実施把握に努め、いじめや事件、健康被害等から子どもを守り、環境構築に努めてください。



フードバンク等の 推進について

公正会・
市民の声連合
武田 真

問 フードバンクとは、企業等から提供された余剰食品を福祉施設や子ども食堂等に無償で提供する仕組みです。この取組みは、食品ロスの削減と社会福祉の向上を両立するものとして近年推進されています。本市等の状況、食品ロス削減の考え方、今後の関与のあり方について伺います。

答 市内では、余剰食品を集めるフードドライブを実施しているスーパーマーケットがあります。近隣自治体では、月形町のNPO法人が空知管内の自治体から委託を受け、食料支援の取組みを行っています。

食品ロス削減については、フードバンク活動が有益な手段の一つであると認識しています。本市の今後の関与のあり方については、物価高を背景とした生活困窮世帯の増加や子ども食堂の活動に取組む団体等の出現も考えられるため、情報収集に努めていきます。



認知症施策を推進する 条例の制定について

問 条例の制定を通じて、認知症の方々が尊厳を保ちながら安心して暮らせるまちづくりを推進することができると考えますが、市の見解を伺います。

答 市では、砂川市高齢者いきいき支え合い条例に基づき地域高齢者見守り事業等を推進しています。認知症施策を推進する条例の制定は現時点で想定していませんが、国の計画に則り認知症の方及びそのご家族等のご意見を伺いながら認知症施策を推進していきます。

市立病院について

公正会・
市民の声連合
小黒 弘

問 病院経営の再建計画を策定し、入院患者数の増、収益的支出の減など外部の意見を取り入れながら組織全体で取組むべきと思います。が、策定の考えを伺います。

答 病院事業管理者、院長とも協議の上コンサルタントの活用を決めたところです。

本年2月下旬には病院幹部、各部門の長を対象に、コンサルタントから病院の経営状況の簡易分析結果が報告され、現状の認識及び今後の課題の共有を図り、現在はコンサルタントによるデータ分析を行っています。

分析後のデータを基に危機感とスピード感を持って組織全体で経営再建・改善を進めていきたいと考えています。

問 病院の駐車場は、患者サービスの一環でもあります。が、とても混んでいます。現状と対策について伺います。

答 現在の駐車可能台数は、患者用348台・職員用470台の合計818台を確保しています。

確保しています。

一日の駐車場利用者台数は、自家用車で通院されている方が一日500台程度で職員は日勤者が一日470台程度の合計970台程度であり、駐車可能台数より多くなります。

混雑時の対策としては、事務職員等の車を看護宿舎前や医師住宅跡地などへ移動しています。

冬期間は、雪山による狭隘化を防止するため、こまめな排雪作業を実施することにより、駐車スペース確保に努めています。



病院立体駐車場の屋上階

ほかに「義務教育学校の教員の在り方について」質問しました。

自動運転バス導入への

実証実験について

創生会

山下 克己

問 現在タクシー並びにバス運転手の高齢化と人手不足が進み、運行にも影響が出てきています。

これからの地域公共交通を確保していくためには、将来的な無人による自動運転バスの導入が必要になってくると考えますが、今後の導入に向けての実証実験に対する市の考えについて伺います。

答 当市の地域公共交通の現状は、市内を通る路線バスの廃止や減便、タクシー台数の減少はあるものの、予約型乗合タクシーの運行もあり、一定程度住民の移動手段は確保できていると考えています。地域公共交通を将来的に持続可能にするという観点から、当市の実情を把握しながら、費用対効果を含めた様々な方策や手段を探ることが重要と考えており、自動運転バスについてもその可能性のひとつに含まれると認識しているところです。

砂川市ゼロカーボンシティ

宣言の取組みについて



問 令和5年3月に宣言した「砂川市ゼロカーボンシティ宣言」の

取組みの現状と今後の脱炭素化に向けた市の考えについて伺います。

答 公共施設や防犯灯・商業街路灯のLED化、新設する施設への太陽光発電設備設置、職員の電気・燃料・紙の使用量削減などに取組んでおり、今後も同様の考えで進めます。

市民や企業の皆様にも、引き続き情報提供や啓発を行っていきたいと考えています。

空き店舗解体

補助金について

創生会

石田 健太

問 全国的に空き店舗の増加が深刻化しています。砂川市においても空き店舗は、地域の活力を低下させ、景観を損なうだけでなく、防犯・防災上の問題も引き起こす可能性があります。

事業承継・引継ぎ補助金など既存の支援策は、事業の引継ぎを促進する上で重要な役割を果たしていますが、空き店舗の増加を抑制するためには、解体という選択肢も視野に入れた総合的な対策が必要と考えます。

そこで、空き店舗対策の一環として、店舗解体補助金制度を創設することで、老朽化した空き店舗の解体を促進し、地域の活性化と安全性の向上を図ることも必要と考えますが市の見解を伺います。

答 市では、商業地域及び近隣商業地域における商店・事業所を目標で確認する空き店舗実態調査を毎年実施し、活用可能な空き店舗及び空き店舗併用住宅の所有者へ今後の意向などについてアンケート

調査を実施しています。

また、創業支援や事業承継への支援など地域経済の活性化策として空き店舗の発生を未然に防ぐ取り組みを行っています。

店舗解体補助金制度は、建物と土地の所有者が異なる場合や、解体し更地になることで土地の価値が上がることになるため個人の財産に公費を投入することに対して慎重にならざるを得ませんが、一般の老朽住宅の除却費を支援する制度もあることから、その制度との整合性を図りながら、調査研究を続けていきます。



常任委員会の活動

常任委員会は定例会が開かれる月（3月・6月・9月・12月）以外に、毎月開催されます。今回は1月・2月の常任委員会質疑を取りあげています。

総務文教委員会の質疑 【1月24日、2月21日開催】

【行財政等について】

- ★令和7年度職員採用登録試験について
- ★競争入札参加資格審査申請及び物品等取引申請の受付について
- ★令和7年度職員採用登録試験二次試験の実施について

【市立病院事業について】

- ★診療科別患者数の状況について
- ★経営収支状況について
- ★病床利用率の状況について（2委員）
- ★経営強化プランの改正の進捗状況について
- ★物価高騰の影響について
- ★駐車場で発生した事故について
- ★分限処分の報告について

【教育行政について】

- ★小学校新1年生の予定数について

- ★砂川高校の魅力向上に向けた取組みに関する要請行動について

- ★栗山町と介護人材に関する包括連携協定について
- ★いじめ問題に係る調査について
- ★令和7年度砂川市教育実践方針について
- ★風邪症状による学級閉鎖、学年閉鎖及び学校閉鎖について
- ★第4回砂川市小中一貫教育推進委員会について
- ★平成6年度全国体力・運動能力、運動習慣等の調査結果について
- ★令和7年度公立高等学校入試出願状況について
- ★砂川市における「小中一貫教育」の本格実施について（2委員）
- ★学校給食費の改定について
- ★地域おこし協力隊について

社会経済委員会の質疑 【1月23日、2月20日開催】

【市民生活行政等について】

- ★税の申告について（2委員）
- ★税の申告のインターネット予約について

【保健福祉行政について】

- ★『第3期砂川市子ども・子育て支援事業計画』策定に向けた取組みについて（2委員）
- ★令和8年度における北地区学童保育所の開設場所について（2委員）
- ★栗山町との介護人材の確保に関する包括連携協定の締結について
- ★市立病院における国保特定健康診査の実施について
- ★すながわ健康ポイント事業の実施結果について
- ★開業医の誘致等に係る助成制度について（2委員）
- ★会計年度任用職員保育士の募集について
- ★保育所（乳幼児）の新年度募集について
- ★住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯特別給付金支給事業の実施状況について

- ★子ども加算特別給付金及び子育て世帯特別給付金支給事業の実施状況について
- ★保育士募集について（2委員）

【建設行政及び下水道事業について】

- ★降雪量及び積雪量について（2委員）
- ★道路改良について
- ★流雪溝について
- ★砂川市住生活基本計画について
- ★下水道点検について
- ★下水道の耐震化について

【経済行政について】

- ★コープさっぽろ店舗建設について
- ★ポケモンスターリーの反響について
- ★北海道電力株式会社砂川発電所の廃止について
- ★駅前施設のキッズスペース等の安全対策について

委員会委員の構成

砂川市議会委員会条例に基づき各委員会の委員が選任され、つづいて正・副委員長との互選が行われ、次のように決定しました。

◎委員長 ○副委員長

【総務文教委員会】

・所管事項

総務部、市立病院、教育委員会、会計課、監査委員、選挙管理委員会の所管に属する事項、並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

◎伊藤 俊喜

○鈴木 伸之 水島 美喜子

沢田 広志 中道 博武

高田 浩子

【社会経済委員会】

・所管事項

市民部、保健福祉部、建設部、経済部及び農業委員会の所管に関する事項

◎辻 勲

○山下 克己 石田 健太

小黒 弘 武田 真

是枝 貴裕

【議会運営委員会】

◎是枝 貴裕

○武田 真 石田 健太

辻 勲



議会運営委員会



社会経済委員会



総務文教委員会

一部事務組合・広域連合議会議員の選挙

近隣市町で構成する一部事務組合・広域連合議会議員の選挙は、議長の指名推薦により、次のように決定しました。

【砂川地区広域消防組合議会議員】

多比良 和伸 伊藤 俊喜

【砂川地区保健衛生組合議会議員】

多比良 和伸 辻 勲

【中空知広域市町村圏組合議会議員】

多比良 和伸 伊藤 俊喜

【中空知広域水道企業団議会議員】

多比良 和伸 辻 勲

【中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員】

多比良 和伸 辻 勲



令和7年第1回砂川市議会定例会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第1号～6号	令和6年度砂川市各会計補正予算	7. 3. 11 原案可決
議案第7号～12号	令和7年度砂川市各会計予算 ※議案第7号 令和7年度砂川市一般会計予算に対して提出された修正案は否決	7. 3. 19 原案可決
議案第13号	砂川市開業医誘致等条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第14号	砂川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議題第15号	砂川市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第16号	砂川市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第17号	砂川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第18号	砂川市職員諸給与条例等の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第19号	砂川市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第20号	砂川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第21号	砂川市家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第22号	砂川市災害遺児手当支給条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第23号	砂川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部を改正する 条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第24号	砂川市立病院専用水道に係る水道技術管理者の資格に関する条例の一部を改正する条例の制定に ついて	7. 3. 19 原案可決
議案第25号	砂川市地域交流センターの指定管理者の指定について	7. 3. 19 原案可決
議案第26号	砂川市ふるさと活性化プラザの指定管理者の指定について	7. 3. 19 原案可決
議案第27号	砂川市まちなか交流施設の指定管理者の指定について	7. 3. 19 原案可決
議案第28号	電子情報処理組織による戸籍等事務に関する事務の委託に関する規約の変更について	7. 3. 19 原案可決
議案第29号	教育長の任命につき同意を求めることについて	7. 3. 19 同 意
議案第30号	砂川市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	7. 3. 19 原案可決
議案第31号	常任委員及び議会運営委員の選任について	7. 3. 19 選 任
報告第1号	監査報告	7. 3. 19 報告済
報告第2号	例月出納検査報告	7. 3. 19 報告済
選挙第1号	砂川地区広域消防組合議会議員の選挙について	7. 3. 19 当 選
選挙第2号	砂川地区保健衛生組合議会議員の選挙について	7. 3. 19 当 選
選挙第3号	中空知広域市町村圏組合議会議員の選挙について	7. 3. 19 当 選
選挙第4号	中空知広域水道企業団議会議員の選挙について	7. 3. 19 当 選
選挙第5号	中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員の選挙について	7. 3. 19 当 選
継続第1号	総務文教委員会継続審査	7. 3. 19 承 認
継続第2号	社会経済委員会継続審査	7. 3. 19 承 認
継続第3号	議会運営委員会継続審査	7. 3. 19 承 認
意見案第1号	えん罪被害者を速やかに救済するために再審法改正を求める意見書について	7. 3. 19 原案可決
意見案第2号	持続可能な学校の実現をめざす意見書について	7. 3. 19 原案可決
意見案第3号	食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を求める意見書について	7. 3. 19 原案可決

令和7年第1回砂川市議会臨時会議決結果表

議案番号	件 名	議決年月日 議決結果
議案第1号	令和6年度砂川市一般会計補正予算(第6号)	7. 1. 27 原案可決

市議会の様子を
インターネット上で配信しています。

砂川市議会事務局

住 所：砂川市西7条北2丁目1番1号

電話番号：0125-74-8796

Eメール：gikai@city.sunagawa.lg.jp

ホームページ：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/index.html



会議の開催状況

- (1月) 10日 議会広報編集委員会
23日 社会経済委員会
24日 総務文教委員会
27日 議会運営委員会
第1回臨時会
- (2月) 3日 議会運営委員会
20日 社会経済委員会
21日 総務文教委員会
- (3月) 3日 議会運営委員会
10日 議会運営委員会
10日～19日 第1回定例会
19日 議会広報編集委員会
- (4月) 4日 議会広報編集委員会
11日 議会運営委員会
第2回臨時会
議会広報編集委員会
21日 社会経済委員会
22日 総務文教委員会

「まちなか交流施設」の現地調査を行いました

2月20日、社会経済委員会の活動として「まちなか交流施設すないる」建設現場にて、工事の進捗状況等の現地調査をしました。施設はほぼ完成しており、屋外広場の整備等を残す状況でした。館内は天井が高く、とても広々としています。木のぬくもりが感じられ、非常に落ち着く空間になりそうです。備品等の配置により、さらに各部屋の機能が明確になるでしょう。カフェも備え、中心市街地の新たな「にぎわい」を創出する拠点になる期待が膨らみました。



砂川市子ども家庭センターが開設されました ～すべての妊産婦・子育て家庭に寄り添う総合相談窓口～

4月1日より、砂川市役所庁舎内に「砂川市子ども家庭センター」が開設されました。

本センターは、母子保健と児童福祉の機能を一体化させ、市内の妊産婦や子育て家庭が抱える、あらゆる不安や悩みに対応する総合相談窓口です。

保健師、家庭児童相談員、母子・父子自立支援員、子ども家庭支援員など、専門の職員が常駐し、相談内容に応じて多職種や関係機関と連携しながら、問題の解決をサポートします。

また、センターの開設に伴い、市役所内の窓口配置が一部変更され、新たな案内表示も設置されました。初めて訪れる方にもわかりやすく、利用しやすい環境づくりに努めています。

「どこに相談すればいいかわからない」そんな時こそ、どうぞお気軽に子ども家庭センターへご相談ください。



あ と が き

予想以上の粘りを見せた冬が過ぎ、ようやく春らしくなってきました。

市議会は4年任期の前半を終えました。今年度は議会運営委員会、総務文教委員会、社会経済委員会を構成する議員が替わり、議会広報編集委員も1名交代致しました。今後も議会の動き、議論内容などをわかりやすくお伝えすることを目指します。

いよいよ「まちなか交流施設すないる」がオープンしました。外出しやすい季節になりました。中心市街地でのお買い物の途中などに「すないる」でゆったり過ごしてみるのはいかがでしょうか。

(鈴木)

議会広報編集委員会

委員長 鈴木 伸之 副委員長 高田 浩子 委員 武田 真 委員 山下 克己